

1

広報

東峰

JAN/2011/Vol. 70

E-mail : kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL : <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

TOHO

東峰村保健福祉センター

当館のお風呂は

光明石天然鉱石温泉です

福岡県東峰村
毎月 15 日発行



東峰村長 高倉秀信

年頭の

新年明けましておめでとうございます。

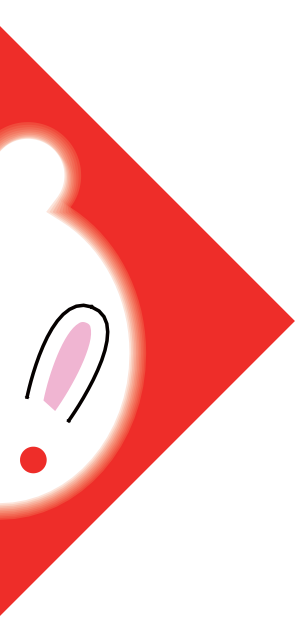
平成 23 年の年頭に当たり慎んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年も変わりませず村行政に対しますご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。さて、平成 22 年を振り返りますと、現在進行中の事業も含めいくつかの大きな事業に取り組むことができました。まず、年々有害鳥獣である鹿や猪の被害が農業、林業で増大しており、有害鳥獣防止対策事業として一定の要件を満たした箇所について、防護柵の設置を行いました。事業年度までたまたま私が、福岡県の農業農村整備事業の委員長という立場にありましたので県内についた予算の 3 分の 1 を当村に振り分けていただき総延長 21 キロに及ぶ事業を終えることができました。

また、昨年 11 月 1 日より運用を開始しました東峰テレビの整備も、数年前まではブロードバンド未整備地域と言われた本村が合併直後の移動知事室の場における村民の方の発言に知事が注視し、過疎地における IT 推進の方策をどうにかしなければという思いからモデル事業として県の関係部局からの支援を受け、一定の成果を得ることができ、九州通信局長表彰を受けるまでになりました。表彰の席上、局長に地デジ化の対応も含め今後の課題を相談したところ、それならまだ補助金の枠に余裕があるのではということで今回の整備にいたりしました。人とのきっかけやつながりは大事にしたいと今でも思っているところです。おかげで、各家庭を光通信で結ぶことができますし、有線テレビの加入率も概ね 100% に近い状況です。今後の利活用が大事ですが、緊急時には無線と有線による情報提供により安心・安全な村づくりに役立ててまいります。

また、本年の 4 月 1 日から開校する予定の小中一貫教育校の東峰学園についても、今急ピッチでハード・ソフト両面での整備が進められています。東峰村の未来を担う子どもたちが大きな希望と誇りに満ちた学校生活がおくれるような教育環境を充実させていかなばならないと思っております。関係各位には色々とお迷惑をおかけしますがよろしく願いをいたします。

合併後の東峰村も早くも 7 年目を迎えることとなります。今後とも持続可能な村づくり、小さくてもキラリと光る村づくりを自助・共助・公助の協働を、昨年改選された村議会議員皆さんと推進し、村民の方一人ひとりが本当に住んでよかったと実感できる村づくりを実践してまいりますので、村民の皆様には今まで以上のご厚情とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、輝かしい年となりますよう各位のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



東峰村議会議長 森山金光

あいさつ

新年あけまして、おめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい平成 23 年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年の 5 月より、東峰村議会議長として就任し、7 ヶ月ほどが過ぎました。日ごろより議会運営に対し深いご理解と御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。本年も決意を新たに東峰村の振興・発展に向け、更に精進して参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界的な景気低迷と円高により、景気は、依然として足踏み状態となっており、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある中で、多くの町村は高齢化・人口減少が進み地域間格差は益々拡大しています。厳しい社会情勢の中で明けた今年は、昨年より良い年になりますようお願いいたします。

東峰村におきましては、行財政改革推進の更なる実施により経費削減に努める一方、昨年の 11 月に、東峰村ケーブルテレビが開局し、今後益々必要となってくる、高度情報化時代に即した情報通信の基盤整備がなされました。今後、地域情報の発信など活用が大いに期待されるものであります。

また、今年 4 月から一貫した教育目標・方針のもとに、教育活動を行う「東峰学園」がスタートを切ろうとしております。子供は家庭の宝であり、地域の宝です、そして村の宝です。村の子供達の教育が、この一貫校の開校によって益々充実するよう期待するものです。

小石原川ダム建設事業については、本格的に工事が始まる矢先の平成 21 年 10 月、国のダム事業の進め方が示され「新たな段階へは入らない」とことになり、検証対象のダムとなりました。本年は、事業に係る団体等（本村も参加）で「検証に係る検討の場」が設置され、事業の方針がまとめられ、国へ報告となります。早期事業着工に向けて、関係団体と連携して強く国に働きかけをしていかなければなりません。

本年度は、国道 500 号線の改良促進、県道八女香春線改良促進また、村の基幹産業である小石原焼の振興を始めとした観光、地域産業の活性化や農林業振興を図り、より豊かな住みよい村づくりに努めていかなければなりません。

最後に、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、村民の皆様信頼される地方自治の展開を図るべく、今年度は夜間議会の開会等取り組んでいきたいと思っております。

今後とも村当局とお互いに協力し、合併しない村づくりを目指し、村民の皆様と一体となった議会活動を行って参りたいと思っておりますので、今後とも格段のご理解と御協力をお願い申し上げます。

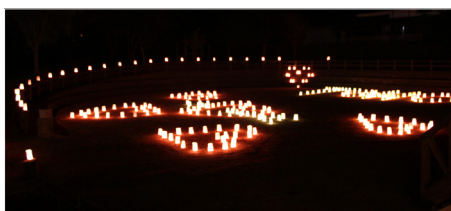
村民の皆様のご多幸を祈念申し上げまして、私の新年の挨拶と致します。

おらが村の ニュース&トピックス

銀河鉄道の輝き

■めがね橋ライトアップ

12月11日(土)～1月3日(月)までの24日間、JRめがね橋のライトアップが行われました。今回は、お正月の帰省客にも見ていただきたく期間を延長し、栗木野橋梁はオレンジ色、宝珠山橋梁は白色でライトアップしました。また、ライトアップ初日は婚活事業開催に合わせて銀河鉄道のイメージで灯籠を柵田親水公園内と栗木野橋梁付近に置いて光のモニュメントを作成し、カメラマン等にも好評でした。期間中は遠くからも多くの観光客が訪れていました。



臼の餅つき初挑戦

■東峰中餅つき大会

12月15日(水)、恒例の東峰中の餅つきが、1年生14名と先生や東峰中部集落営農組合の皆さん、保護者の協力により行われました。初めて杵を持つ生徒達が多く、悪戦苦闘しながら60kgのもち米を3人1組になり3臼を交代でつきあげ、丸めていきました。翌日、生徒達(全校生徒)の手により手紙を添えて村内の70歳以上の老人世帯に配られ、「毎年ありがとう」と言うお礼の言葉をいただいたそうです。



民生委員との交流

■美星保育所だより

民生委員児童委員と美星保育所の園児との交流が12月22日(水)に美星保育所で行われ、昔の遊びの、こま回し、ヨーヨー、お手玉を園児たちは手ほどきを受けながら楽しそうに遊びました。その後は、園児たちが作ったクリスマスケーキを一緒に食べました。民生委員児童委員の方々は、園児にとってはおじいちゃんおばあちゃん位の年齢になりますが、子供たちと楽しいひと時を過ごされたようです。



東峰 Jr. みらい塾 あじわい学級しめ縄づくり

12月11日(土)、宝珠山基幹集落センターにおいて、あじわい学級と東峰 Jr. みらい塾合同でしめ縄づくりを行いました。子どもたちは、あじわい学級生に指導を受けながら、手足を使って一生懸命に藁をなっていました。一つ作品ができると自信がついたのか、積極的に学級生に質問をして、難しい作品にもチャレンジしていました。

みんな思い思いにしめ縄を作って新年を迎える準備ができました。体験を通して、昔の人の知恵や技術に驚かされ、こうしたすばらしい技術は、是非後世に受け継がれていくべきだと感じ、今回はとても良い機会になったのではないのでしょうか。年配の方が多い本村はまさに生きていく知恵の宝庫であり、その知恵を子どもたちには学び、受け継いでもらいたいと思います。あじわい学級の皆さん、本当にありがとうございました。



▲みんな、思い思いのしめ縄が出来上がりました

福岡県体育指導委員研修大会

体育指導委員 仲道 優 副委員長がパネラーで登壇!

平成 22 年 12 月 12 日 (日) 久留米市民会館において、「第 46 回福岡県体育指導委員研修大会」が開催されました。『体育指導委員の力で、目指せ「生涯スポーツ立県・福岡！」～みんなで共有しよう！体育指導委員に今必要なこと～』を研修会テーマとして、福岡県下の体育指導委員約 850 名の参加がありました。研修大会では、特別講演会や地区対抗・アジャタ (スポーツ玉入れ) 交流大会、シンポジウムが行われ、東峰村体育指導委員も本研修大会のスタッフとして早朝より終日活動してきました。



中でも今回のシンポジウムでは、東峰村体育指導委員 仲道 優副委員長が県内体育指導委員の代表パネラー 4 人のうちの一人として登壇しました。テーマ「あなたの地域の課題をみんなで共有・解決しよう」と題して、東峰村のスポーツ活動の状況や今後の課題について語っていただきました。体育指導委員は、村内の運動会やグラウンドゴルフ大会などをはじめ、スポーツ振興役や地域のコーディネーターとしても活動しています。ニュースポーツ教室など興味のある方は、体育指導委員にお気軽にお尋ね下さい。

『らぶすぽ東峰』次回予告

	場 所	日 ち	備 考
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館多目的ホール	1月18日(火) 2月8日(火)	会員…無料 非会員・団体会員…1回800円 *マットはこちらで準備します。

学校づくり部会

【平成22年12月20日開催 会議報告】

全体会議

11月30日(火)に開催された開設準備委員会の報告を行いました。

(詳細は広報東峰12月号に掲載)

その後、学校づくり部会として HARU さんから提出いただいた校歌のデモテープを試聴しました。

班別会議

<p>開校式班 (校名・校歌・校章班 + 閉校式・記念誌班)</p>	<p>開校式の進め方に下記の点について協議を行いました。 他校の式次第を参考に東峰学園開校式の式次第の検討 各種あいさつの順番や来賓等について 小学1年生も式典に参加するので、時間配分などについて (長時間になるようなら、1部・2部の構成も検討) 校章や校歌の発表の方法</p>
<p>制服・通学路班</p>	<p>12月21日(火)に行われたスクールバス運営委員会に諮る内容について 下記の点を班員で確認しました。 学園まで児童・生徒を送迎するために必要なバスの台数 朝の便は2便(児童用1便、生徒用1便) 帰りの便は3便(低学年児童1便、高学年児童1便、部活生徒1便) 積雪時、凍結時の際にも対応した運行時間</p>
<p>閉校式・記念誌班</p>	<p>閉校式・閉校記念誌について下記の点について確認、協議を行いました。 小石原小学校、宝珠山小学校の閉校記念誌の予約状況 両小学校閉校後の記念誌の管理について 閉校式の式次第について 閉校式の案内をどこまで出すのか</p>

お礼とおねがい

小石原小学校、宝珠山小学校の閉校記念誌につきましては、ご支援とご協力をいただきありがとうございます。しかしながら、小石原小学校閉校記念誌の申し込み冊数が予定に達しておらず、このままでは採算が取れない状況にあります。小石原小学校の閉校記念誌はこれまでの小学校の歴史や、歴代の卒業写真、ゆかりの深い方からの寄稿などを掲載し、手にした皆様から喜んでいただけるよう、現在鋭意製作中でございます。

東峰村出身の方、とりわけ小石原小学校を卒業された方で村外に出られている方などご存知の方がいらっしゃいましたら、村民の皆様のお力で広くご周知・ご予約いただければ幸いです。

～東峰村小中一貫教育校開設準備委員会 学校づくり部会より～

学校教育部会(学習指導部会)

保育園と小学校の交流

12月5日(金)、小石原小学校の1年生が、小石原保育園の生活発表会に参加しました。1年前の自分たちの姿を思い出しながら、にこにこしながら園児たちの表現を参観しました。4月には、お兄さん・お姉さんになった2年生として、新1年生を迎えてくれることだと思います。12月21日(火)、宝珠山小学校の6年生が、美星保育所を訪問しました。これは、総合的な学習の時間「夢実現プロジェクト」の一貫で、「働く」という体験を行うためです。夢を実現するために、今の自分に必要なことを考える大切な学習になりました。



園児の表現をにこにこ参観



「先輩」として感想を発表



「働く」ことの意味を学習

小学校どうしの交流

11月5日(金)は4年生がうきは市の大石堰、長野水神社へ、11月17日(水)は5年生がトヨタ自動車九州工場とその関連会社のトピー工業、TNC放送局へ社会科見学に行きました。小石原小学校と宝珠山小学校では、このように、同学年の先生が互いに授業内容や進度について話し合い、合同で社会科見学を行っています。子ども達にとっても、学びの交流ができるよい機会となっています。



資料館の館長さんから説明を受ける



係りの方にいっしょにあいさつ



見学記念に、ハイポーズ!

小学校と中学校の連携授業

12月7日(水)、東峰中学校1年生の理科の授業に小学校の先生が入る授業を、12月14日(火)、小石原小学校6年生の音楽の学習に中学校の先生が入る授業を行いました。小学校の先生は、中学生に小学校で学んだ内容の振り返りを、中学校の先生は小学生に専門的な立場からの指導を行うことができました。3学期も、小中の連携授業を充実させながら、そのよさを東峰学園につないでいきたいと思ひます。



小学校の内容の振り返り



今までの学習を電子黒板で



中学校の先生による指導